

# 2005年度 活動報告

アグリビジネス分科会  
高橋 修一郎

# 2005年度 活動内容

- 4月 分科会立ち上げ 年間計画の話し合い
- 5月 農業実地体験(落花生の播種)@西千葉
- 6月 農業の現状や問題点について討論
- 7月 農作物の工業的生産について討論
- 10月 パソナオーツー見学、生産者・研究者  
・消費者討論会  
農作物のブランディングについて
- 11月 新規就農者の問題について
- 2月 活動総括

# 5月 農業実地体験



写真はイメージです。当日、写真を撮り忘れてしまいました。

# 6月 農業の現状 討論

- 農業の現状について、生産者・研究者・消費者の皆さんと討論
- 以下の3つの問題に集約
  - 新技術による既存農業への影響
  - 新規就農における問題点
  - 農作物のブランディング

# 7月 植物の工業的生産

- 先端技術を利用した大量生産
- 植物工場は現在全国に24箇所、増加傾向
- トマト、サラダ菜
- 生産の安定性
- 既存の農業を脅かす存在？



# 10月 パソナ・オーツ―見学会 農家交流会

## 交流会の目的

- テクノロジーを活かした農業を知る
- 既存の生産者との意見交換

## 詳細

- 植物工場に使われる技術を例に、施設見学、およびディスカッション

## 参加者

- 富里農業ネットワークの若手生産者
- 農学研究者・大学院生
- 一般消費者







LEDを使用した植物生産技術



青 400 nm

赤 660 nm



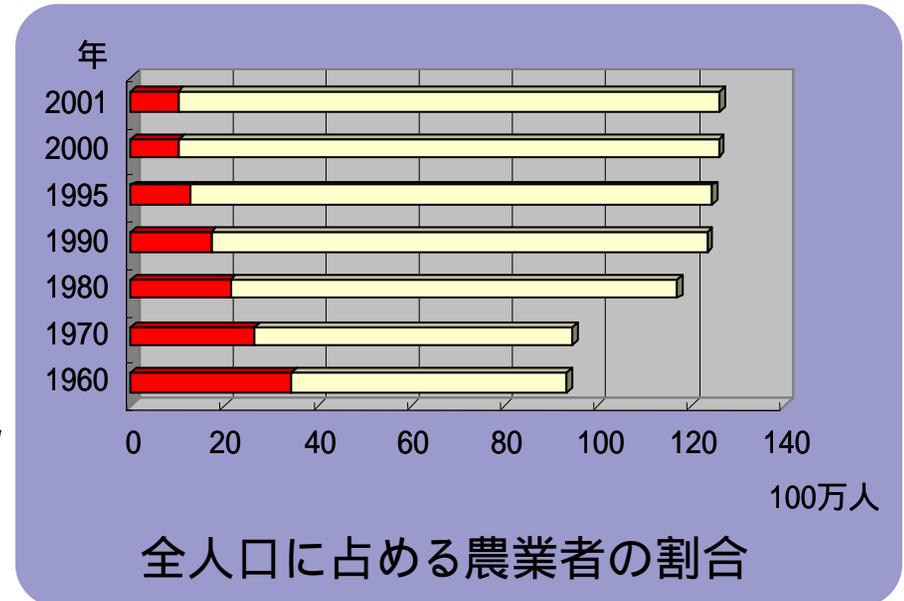


# アンケートによる意識調査

- 生産者は、既存の農業(露地栽培、ハウス栽培など)を脅かす新技術に関しては、否定的である
- 生産者が求める技術 / テクノロジーを活かした新しい生産技術 / 消費者のニーズは必ずしも一致しない

# 11月 新規就農者の問題

- 就農するためには？
  - 個人としての就農
  - 法人としての就農
- 個人就農
  - 土地確保、技術・知識の習得が問題
- 法人就農
  - 増加傾向
  - LLPなど、新規参入増加の兆し
  - 人材ビジネスとしての可能性
  - 新しい技術が導入しやすい？



# 2005年度の総括

- 農業分野における諸問題・現状を鳥瞰
- 分科会参加者(生産者、研究者、消費者)の討論を通じて、どのように農学・農業をつなげていくか議論

# 2006年度の計画(案)

- 第4回知財学会口頭発表  
「農家、農学研究者間の知識流動に関する研究」
- 農家、研究者、消費者のコミュニケーションを活性化するためには？
- 種苗法等についても検討中
- オーガナイザーは引き続き塚田・高橋を予定

人的ネットワークによりアグリに関する情報  
(ひいては知的財産)の流動化を目指す



# ご連絡先

塚田周平 ([tsukada@beagri.com](mailto:tsukada@beagri.com))

高橋修一郎 ([takahashi@beagri.com](mailto:takahashi@beagri.com))

ご協力頂いたみなさま、  
ありがとうございました！！